

なかま・人権を大切に

～地域総合センター訪問を通して～ < 中学校 >

目的 互いの人権の大切さに気づき、部落差別をはじめ様々な差別をなくすために具体的に行動しようとする。
地域総合センター訪問を通して、地域の人々や先輩の活動にふれ、自分自身の今後の生き方に活かそうとする。

< 気づく >

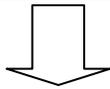
身の回りのことを考えよう

- ・「友だちについて考えよう」
- ・「親について考えよう」
- ・「中学校のことについて考えよう」

身の回りにある不合理なこと、おかしいと思うことに気づく。

ワークショップ
「友だちって」
「こんなとき、あなたならどうする」
「 中学校のいいところ・よくないところ」

ロールプレイ
「今どきの親 VS 今どきの子ども」

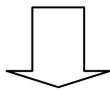


< 広げる深める 1 >

先輩の体験談を聞いて考えよう

部落差別の現実をとらえるとともに、たくましく生きようとする人やそれを支える仲間の大切さに気づく。

先輩の体験談
「私の心を支えてくれたもの」など

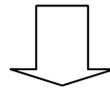


< 広げる深める 2 >

地域総合センターを訪問しよう

同和問題の解決に向けた人々の願いを受け止め、地域の取り組みを理解し、「不合理や差別を許さない」気持ちをもつ。

地域総合センターの訪問以外に、人権センター、NPO等の団体、市町村の取り組みを活用することもできる。



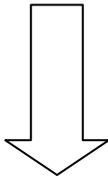
<計画する>

「やってみたい こんなこと」の計画を立てよう

- ・「学校」「クラス」「町」についての提案を考えよう

「不合理」を許さない社会にするために、自分に何ができるかを考える。
一人ひとりが大切にされ、誰もがすみよい学校や町にするにはどうしたらよいかを考える。

関連資料
「走れ！夢をのせて」
(県人権センター)
・中学生が町の課題に気づき、仲間と共に行動を起こしていく内容のビデオである。



「すてきな
中学校」にする
ために

「いつまでも、なか
まとして
支え合える
クラス」にする
ために

「住んでみ
たいなこ
んな町」
について

<実践する>

「やってみたいな こんなこと」を発信しよう

- ・「学校」「クラス」「町」について提案していこう

考え計画したことを、まわりに広めていく活動を通して、くらしや生活をよりよくしていこうとする。

討論会

「一人ひとりが大切にされる学校にするためには」
「いつまでもなかまとしてつながっているためには」
「住みよい 町にするためには」

<振り返る>

学んだことをまとめてみよう

自分の課題を追究したことに自信をもつ。
今後も「不合理」を見抜き、許さないという気持ちを持ち続ける。



【学習を進めるにあたって】

- ・子どもの実態をふまえ、保護者や地域と連携協力しながら、効果ある学習を展開させる。
- ・子どもたちが、前向きな姿勢で学習できるよう、子どもへの配慮や働きかけなどの支援をする。